

丹鶴ホールオープニングイヤー事業

国史跡指定記念シンポジウム

新宮下本町遺跡

～中世の港町新宮の実像に迫る～



白磁四耳壺



地下式倉庫

令和4年11月10日に新宮下本町遺跡が国史跡に指定されました。本シンポジウムでは調査の成果を報告し、遺跡の歴史的価値について、広く皆様にお伝えするとともに、調査により明らかとなってきた中世新宮の町の景観や人々の活動等の実像に迫ります。また、遺跡を次世代へと継承していくため、今後の保存と活用についても考えます。

新宮下本町遺跡の遠景

令和4年 **12月17日[土]**

13時～17時15分

(受付・開場は12時30分から)

新宮市文化複合施設

丹鶴ホール [文化ホール]

新宮市下本町2丁目2番地の1

参加費無料・申込不要

[問合先]

新宮市教育委員会文化振興課

TEL 0735-23-3368 FAX 0735-23-3370

E-mail bunka@city.shingu.lg.jp

お願い 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会場内でのマスクの着用、手指の消毒にご協力ください。発熱や風邪の症状がある方は御遠慮ください。

主催：新宮市・新宮市教育委員会

後援：和歌山地方史研究会・熊野歴史研究会

報告

「新宮下本町遺跡の概要」

小林高太 (新宮市教育委員会文化振興課 係長)

基調講演

「史跡・新宮下本町遺跡の保存と活用」

黒崎直 (富山大学 名誉教授)

講演

①「中世新宮の変遷～集う人々・支えた人々～」

坂本亮太 (和歌山県立博物館 主任学芸員)

②「遺跡からみた霊場港湾都市新宮の中世」

鋤柄俊夫 (同志社大学文化財保護研究センター 嘱託研究員)

③「中世新宮に関わる海上交通と物流」

綿貫友子 (神戸大学大学院 教授)

シンポジウム

「新宮下本町遺跡の歴史的価値と今後の活用を考える」

進行役：山本殖生 (新宮市文化財保護審議会 委員)

パネラー：黒崎直・坂本亮太・鋤柄俊夫・綿貫友子・小林高太

開催予告

新宮下本町遺跡国史跡指定記念企画展

「中世新宮の町と海上交通」

会場：新宮市立歴史民俗資料館

会期：令和5年2月25日(土)～4月3日(日)

※企画展の内容・会期等は変更となる可能性があります。